

上宮寺通信

第六十五号

仏教と「龍」

新しい年が始まりました。今年
は辰年になります。辰は「龍」
とも書き、想像上の動物です。

空を飛び雨を降らし稲妻を轟
かせるなど、「龍」は穏やかなイ
メージがありません。そのため
か前の辰年である二〇一二年に
は民主党から自民党への政権交
代がありました。いまの政治を
見ても今年も何か大きな政
変が起こるのではないかと思っ
てしまいます。

そんな「龍」は実は仏教とも
深いかわりがあります。

① 仏教を守護する

観光で寺院(特に禅宗)を訪

れると、天井や襖に「龍」の絵
が描いてあることがあります。

仏教発祥の地であるインドで
は八部衆という仏教以前から信
仰されてきた八つの神々が仏教
を護ると伝えられてきました。
その一つが蛇神。それが中国に
伝わり龍神となり日本にも伝わ
ってきたのではないかといわれ
ています。ですから日本の寺院
でも仏教を護る存在として「龍」
が描かれるようになったので
す。

② 火災除け

「龍」は水をつかさどる神と
されています。地名で「龍」「竜」
「蛇」などの文字が入っていれ
ば過去に水害があったところだ
から気をつけたほうがいいとも
いわれます。

神社仏閣は比較的高台に建つ

ことが多いのですが、木造建築
が多い故に一番怖いのは火事で
す。そのために火災除けの願
いも込めて「龍」の絵が描かれ
たり、境内の手水場に「龍」の彫
刻を設置したりすることが多い
といわれています(京都東本願
寺の手水舎にはとても立派な
「龍」がいます。行かれた際に
はぜひご覧ください)。

③ お釈迦様の誕生と灌仏(かんぶつ)

お釈迦様の誕生日である4月
8日には「花まつり」として甘
茶かけをします。

花で飾りをつけた花御堂に、
灌仏桶と呼ばれるたらいのよう
な器を置いて甘茶で満たし、そ
の中央にお釈迦様の誕生時の姿
をあらわした「誕生仏」を安置

してあります。

ひしゃくで甘茶を誕生仏の頭
にかけてお釈迦様の誕生を祝う
のですが、これはお釈迦が生ま
れた時に「龍」が天からあらわ
れ、お釈迦様の頭から甘露の雨
を注いだという言い伝えに基づ
いています。

暴れるイメージがある「龍」
ですが、実は仏教を護る存在だ
ったのです。世の中も「龍」に
守られて穏やかな年であるとい
いですね。



◆行事案内

上宮寺の年間行事予定

3月8日(金)

春のお彼岸・永代経法要

法話：林 祥真師(一宮市禮讃寺)

8月13日(火)・14日(水)

お盆(盂蘭盆会) 法要

9月8日(日)

秋のお彼岸・永代経法要

法話：田中智教師(名古屋別院)

11月8日(金)

報恩講

法話：伊奈祐諦師(西尾市安楽寺)

◆話題あれこれ

○上宮寺の年間行事予定を上
に挙げておきました。社会状
況の変化などで変更もしくは
中止にする場合もあります
が、どうかご予定いただきま
すようお願いいたします。ま
た、その他にも行事を企画し
ましたら、その都度ご案内い
たします。

○ぜひ上宮寺公式アカウント
の友だち登録をしてくださ
い。法事、法要の相談もLI
NEでできるようになりま
す。



○年忌法要の予定がございま
したら早めにご連絡をいただき
ますようお願いいたします。

令和6年に年忌が当たる年の没
年は次の通りです。

- 一周忌(令和5年)
 - 3回忌(令和4年)
 - 7回忌(平成30年)
 - 13回忌(平成24年)
 - 17回忌(平成20年)
 - 23回忌(平成14年)
 - 27回忌(平成10年)
 - 33回忌(平成4年)
 - 37回忌(昭和63年)
 - 43回忌(昭和57年)
 - 47回忌(昭和53年)
 - 50回忌(昭和50年)
- カッコ内が没年です。

○暖冬とはいふものの寒い日
が続きます。体調を崩さぬよう
くれぐれもご自愛ください。

【雑感】

2年連続の最下位に沈んだ中
日ドラゴンズ。立浪監督も勝負
の3年目となりました。辰年だ
けになんとか「昇龍」の年にし
てほしいものです。今オフは課
題の打撃強化のために中田翔選
手を獲得しました。全盛期中
田選手ならばチームの柱となる
ような活躍を期待できますが、
近年はケガもあり成績も下降気
味。あまり過度の期待をするの
は無理というものです。シエイ
クスピアが「期待はあらゆる苦
悩のもとである」との言葉を遺
しています。イライラしないよ
うにほどほどの期待で見えてい
きたいと思えます。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年一丁目十九番十五号

☎052-871-0547